

平成14年
(2002年)

8月1日

発行/福生市 編集/総務部秘書広報課 ☎197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表)



市の花・つづじ 市の木・もくせい 市の鳥・ジュウカラ

今号の 主な内 容	結核検診(胸部レントゲン) …… 2面
	リサイクルセンター夏休み親子学習会 … 2面
	字幕付き映画上映会 …………… 3面
	「庁舎問題を考える」 ご意見をお聞かせください … 4面

福生市のホームページ <http://city.fussa.tokyo.jp/>

住民基本台帳ネットワークシステム 8月5日スタート!

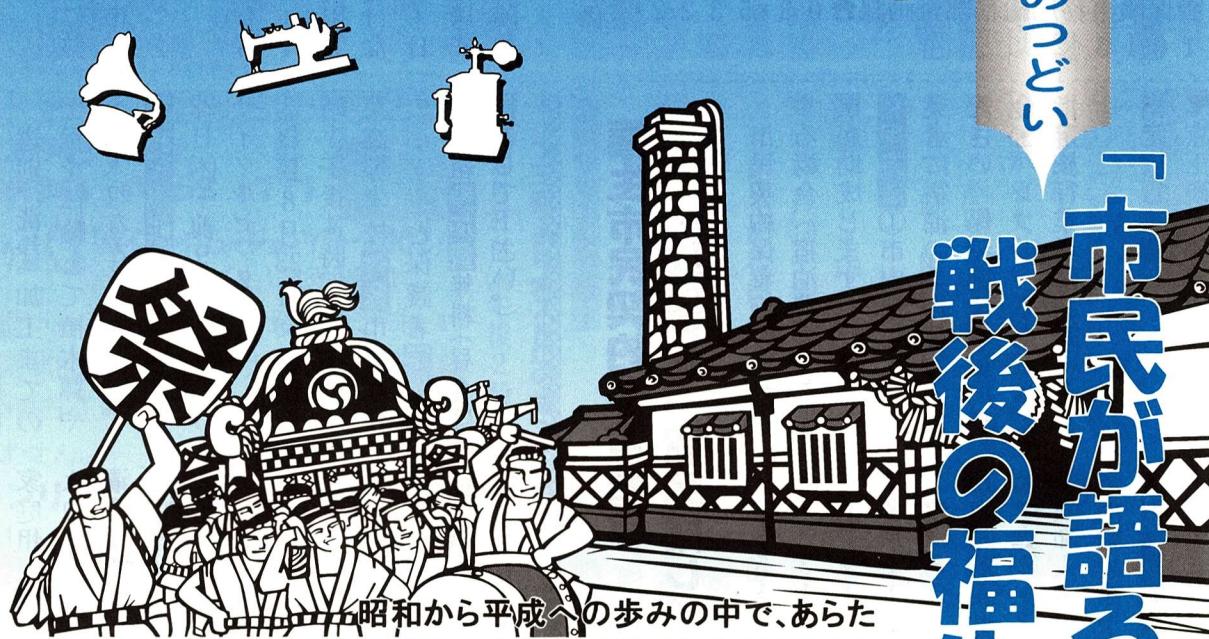
住民基本台帳ネットワークシステムは、4情報(氏名・生年月日・性別・住所)、住民票コードと、これらの変更情報により、全国共通の本人確認を可能とするシステムです。国などの行政機関では法律で定められた事務について、ネットワークシステムから本人確認情報の提供を受けることが可能になるため、各種行政手続きの際、住民票の写しの添付が不要となります。

このネットワークシステムを正確・迅速に運用するため、個人ごとの住民票に新たに住民票コードを記載して、8月15日以降市民の皆さんに郵送します。郵送された住民票コードは、行政機関への届出の際に求められることがありますので、大切に保管してください。

問合せ市民課市民係

昔の福生をご存じですか?

終戦後56年がたち、当時の福生の暮らしがどうだったのかを6人の市民の方に語っていただきます。



平和のつどい

「市民が語る 戦後の福生」

(昭和20年代)



昭和から平成への歩みの中で、あらためて平和の大切さ、ありがたさを皆さんとともに考えてみたいと思います。

お気軽においでください。

項 目	発 言 者
若い力・農業	石川昌一氏(元保護司)
商 工 業	森田治男氏(福生市商工会会長)
教 育	秋山三雄氏(元中学校教諭)
くらし・人	鯉渕スマ子氏(主婦)
米軍基地	山崎茂男氏(珠算学校経営)

◆司会者 坂本丁次氏(新聞記者)

市では平和についての啓発運動を推進するため、例年「平和のつどい」を実施しています。15回目の今年は、市民の方に戦後の生活などの話を聞いていただきます。

日時 8月18日(日)午後1時30分～3時30分※午後1時開場

場所 さくら会館(市民会館隣)

3階ホール※入場無料

問合せ 総務課庶務係
定員先着100人

第52回福生七夕まつり 8月8日～11日

くわしくは、広報紙と同時配布のパンフレット、または市のホームページ(アドレスは上欄に掲載)をご覧ください。



▽試験日時 9月22日(日)午前9時
▽場所 商工会館
▽方法 筆記試験(一般教養)・適性検査・作文(課題方式)

問合せ 文書職員課人事係

採用予定日 平成15年4月1日
受験資格 ※外国籍の方も受験可
職種・募集人員 一般事務・若干名

▽上級(大学卒程度)：昭和52年4月2日～56年4月1日生まれ
▽初級(高校卒程度)：昭和56年4月2日～60年4月1日生まれ

▽中級(短大卒程度)：昭和54年4月2日～58年4月1日生まれ

▽下級(大学卒程度)：昭和52年4月2日～56年4月1日生まれ

▽地方公務員法第16条の欠格条項の該当者は、受験不可。

市職員募集

暑い夏の夜、夕涼みがてら
外に出て、空を見上げると満天の星、銀河、天の川、といふ状況に出遭うことは、福生のように夜が明るいと肉眼で見えて、それが始まります。

しかし、輝いている市民の皆さんに出逢える七夕祭りは難しくなりました。

52年間、多くの人々の努力で積み重ねられた祭りは、40万人を超すお客様を迎える多摩地区でも最大級の行事になりました。歴史と伝統の上に、新たな装いに工夫を凝らし、「福が生まれる星まつり」にしようと本当に多くの皆さんの協働の下に行われています。

短冊を書き、飾りを造り、イベントの準備と本番、模擬店の仕込みと開店。

部会の皆さん、そして、それらの様々な場面に参加してくれる多くの市民の皆さん、本当にご苦労様です。

そして、忘れてならないのが、裏で祭りを支えてくれる警察や消防、関係する各種団体の皆さんです。ありがとうございます。

それぞれに楽しく、有意義で大いに輝く4日間にしました。

きんもくせい

福生市長野澤久人



△7月3日のまちづくりフォーラムにて

よう。

福生市総合防災訓練 「防災の日」の9月1日(日)午前9時～正午の予定です。問合せ 総務課防災係

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

耐震補強工事について検討しました。補強工事は下図1のように、厅舎内部と外部の壁に耐震補強壁を設置することになりますが、工事をすることによってすべての階で耐震性が確保されることになります。

耐震補強工事と問題点

耐震診断調査の結果を受け、平成9年度に本厅舎の耐震補強工事について検討しました。

兵庫県南部地震による被害を教訓に、平成7年度に市役所本厅舎の耐震診断調査を行いました。その結果、外観調査で外壁の一部にひび割れが発見され、耐震診断計算では1階と2階で補強が必要との判定となりました。

耐震診断調査

大地震に耐えられない現厅舎

なります。しかし、耐震補強工事は厅舎全体に及ぶ大規模な工事になるため、次のような問題点が生じます。

①耐震補強工事のほか設備の改良や仮厅舎の設置が必要となり総額で約21億円の工事費が必要となりますが、これにより建替えの問題が生じる。さらに市民サービスが低下する。

②窓口が耐震壁で分断され、より不便な厅舎になる。

③新たな分厅舎が必要となり、市民サービスが低下する。

④工事を行つても厅舎の耐用年数は延びず、いずれ建替えの問題が生じる。

⑤現在の厅舎の分散化による市民の利便性に欠ける状況が改善できない。

これらのことから、耐震補強工事に多額の費用を投入しても費用に対する効果が少ないと言わざるを得ません。

庁舎問題を考える

皆さんのご意見をお聞かせください

現在の福生市の本厅舎は耐震性能が低いため、大地震が発生した際に行政機能や防災拠点としての機能が麻痺するとともに、来厅する市民や職員の生命の安全が確保できないという心配をかかえています。また、バリアフリー化が整備されていないことや厅舎が6か所に分散していることで市民の皆さんに利用の面で不便をおかけしていることなど、様々な問題点が指摘されています。このような厅舎の現状について、市議会では平成13年度に厅舎検討特別委員会を設置して厅舎の諸問題を検討し、厅舎建替えと市民意見を反映させるしきみ作りが必要性であるとの報告書をまとめました。

そこで、厅舎の現状を市民の皆さんに知っていただくために、この報告書をもとに「厅舎問題を考える」をまとめました。現厅舎の問題点、また新厅舎建設の必要性について市民の皆さんのご意見をお聞かせいただき、今後の検討の参考とさせていただきます。

エレベーターの設置が困難な現厅舎

福生市の厅舎はエレベーターがないなどバリアフリー化が遅れており、障害のある方や高齢の方などに不便をおかけしています。

そこで、現在の厅舎にエレベーターなどを設置するバリアフリー化工事をした場合の費用と効果及び問題点について検討しました。

下図2は玄関部分にエレベーター

ホールを増築する案ですが、建

築基準法、耐震改修促進法により

現在の基準に適合しない箇所の改

善や耐震補強工事を合わせて行う

べき問題点について検討しました。

下図2は玄関部分にエレベーター

ホールを増築する案ですが、建

築基準法、耐震改修促進法により